

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	5		1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	5		1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	3		2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	3		2

【上記 4 つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・多忙な中、各スタッフが意見を出し合って、しっかりと自己評価に取り組んでいます。
- ・取り組むこと、取り組もうという姿勢が大切。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

- ・難しいことだが、全員がプランを把握し、それに基づいてケアを行える体制作りを目指して欲しい。
- ・事故対策委員会などで、一部の職員の意見ではなく、少しでも多くの意見が出るような体制作りをしてほしい。

【今回の 9 つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・コロナ禍で何かと制限が多く大変と思いますが、計画の通りになるよう頑張ってもらいたい。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・コロナ禍で大変な中、感染者も出さず、頑張ってケアをしてくれている。
- ・今年度もコロナ禍で出入りや行事参加ができなかったのが残念。
- ・ひどい声掛けは聞いたことが無いが、意識しなくても自然と良い言葉遣いが出るようになってほしい。

【改善計画】※後日記入

- ・今年度も、コロナ禍で地域との関わりが殆ど出来なかったが、コロナ禍が今後も継続していくと思われるので、感染対策をしっかりと行い、地域と積極的に関わっていく。
- ・また、スタッフの入れ替わりやコロナ濃厚接触等での自宅待機により、安定したケアが十分に出来ていないことがあったので、勤務可能スタッフをしっかりと確保し、充実したケアを常に行えるようにしていく。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4		2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・春や秋はコロナ禍で、玄関の自動ドアを開けっぱなしにすることが多く、例年以上に開放感があった。

【前回の改善計画】

・今年度は、コロナ禍で地域の方々の出入りが少なかったが、今後も継続して、利用者が安心して快適に過ごせる環境、スタッフが働きやすい環境を作っていく。
・掃除が行き届いていない時があるので時間を見つけて行う。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

・コロナウイルスの流行で、事業所にはお邪魔する機会が減りましたが、いつも入り口は清潔にされており、心地好い雰囲気を感じています。

【今回の改善計画】※後日記入

・スタッフの多い少ないにより、掃除の出来に差があるので、一貫して居心地の良い環境作りを目指していく。
・今年度も、コロナ禍で地域の方々に来て頂く機会が少なかったが、今後も継続して、利用者が安心して快適に過ごせる環境、スタッフが働きやすい環境、ご家族様や来客がまた来たいと思える環境を作っていく。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		3
1	職員はあいさつできていますか？	6		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5		1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5		1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	4		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・毎朝、朝礼で「あいさつの練習」を行っていることもあり、いつも、しっかりした対応、良い挨拶をしてくれている。
- ・今年度もコロナウイルスの関係で、「なかよし給食会」や「ふれあい喫茶」等公民館の行事が殆ど行われなかった。クリーン作戦にはスタッフが参加してくれ、ありがたかったです。

【前回の改善計画】

- ・スタッフ一人ひとりが、オリンピック代表であるという意識を持ち、地域の方々と関わる。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・地域に対して親身に相談に乗っておられるイメージがあります。今年度はコロナウイルスの流行により地域に出向くことが難しかったと思います。

【改善計画】※後日記入

- ・コロナ禍が今後も継続していくと思われるので、情報を集め、感染対策をしっかりと行い、地域のイベント等にも積極的に参加していく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		3
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4	1	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	2	1	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	2		4
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2	1	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・利用者と一緒に淡路島に出かけるなど、例年であれば、積極的に利用者と共に外や地域に出かけて行ってくれています。コロナウイルスが収束したらまたお願いしたいです。

【前回の改善計画】

・来年度もコロナ禍で制限が多いことが予測されるが、感染症対策をしっかりと行った上で、出来る限り、地域との交流を図る。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

・地域の高齢者の交流行事自体が中止や規模の縮小が殆ど。高齢者は感染した場合の重症化リスクが高くどうしても外出や地域交流に積極的になれないのは仕方がない。

【改善計画】※後日記入

・来年度以降もコロナで人が集まる行事等へは行きにくいことが予測されるが、感染症対策をしっかりと行った上で、人の集まらない行事や地域交流を行っていきたい。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		3
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4	1	1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	2	1	3
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4	1	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	3	1	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・今年度もコロナ禍で運営推進会議が十分に開催されていませんでした。10月以降、あんしんすこやかセンターの方とオリンピアの職員数名のみで行われています。

【前回の改善計画】

・今年度は、コロナ禍で運営推進会議が開催されなかった。コロナの情勢を見極めながら、徐々に少人数から再開し、地域にオリンピアのことを知っていただけるようにしていきたい。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

・コロナ禍が収束せず、今年度はオリンピアさんの運営推進会議への参加はできませんでしたが、いつも地域の方を交えた会議が行われており、様々な意見の改善に努められている印象です。

【改善計画】※後日記入

・コロナの情勢を見極めながら、あんしんすこやかセンターの方だけでなく、感染対策を十分に行った上で地域の方をお呼びしていく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	1	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1		4
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	5	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・この上池地区の中で、新しく、一番高く頑丈な建物なので、災害時はそちらに行こうと思っていますので、よろしくお願いします。

【前回の改善計画】

・消防訓練の際、事前に自治会や近隣にチラシを持って訓練があることを知らせる。
・今後も、研修や訓練をしっかり行い、緊急時に余裕を持って対応できるように努める。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

・台風で家に一人でいるのが心配な時など、オリンピックを利用していなくても、泊めてもらえると知人から聞き、頼りになるなと思っています。

【改善計画】※後日記入

・地域の方からも頼りにされる施設であり続けられるよう、今後も、研修や訓練に努める。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 (2021年度)

法人名	社会福祉法人 光朔会	代表者	理事長 山口 元	法人・ 事業所 の特徴	「その人らしい暮らしの実現」という法人の理念に基づき、地域の方と共に歩みつつ、「利用者中心のケア」を積極的に取り組んでいる。 小規模特別養護老人ホームと併設された明るい色調で統一された、機能的な地域密着型小規模多機能型施設である。地域に密着した施設は、地域の自治会・老人会・児童館を通して、地域の諸行事、お祭りや餅つき大会に参加したり、公民館で健康相談窓口を開催するなど、事業所の特性を生かして貢献するようにしている。季節に応じた外出や同法人で行われる行事への参加で外出の機会を多く持つようにしている。利用者の声に耳を傾け、多くの事にチャレンジをしていくことが、特徴である。
事業所名	小規模多機能ホーム オリンピア神戸西	管理者	平山 陽三		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・ 地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	人	1人	2人	人	人	6人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今年度は、コロナ禍で地域との関わりが殆ど出来なかったため、来年度は出来る限り関わりを持てるようにしていきたい。	・難しいことだが、全員がプランを把握し、それに基づいてケアを行える体制作りを目指して欲しい。	・コロナ禍で大変な中、感染者も出さず、頑張ってケアをしてくれている。 ・今年度もコロナ禍で出入りや行事参加ができなかったのが残念。	・今後も、コロナ禍が今後も継続していくと思われるので、感染対策をしっかりと行い、地域と積極的に関わっていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・今年度は、コロナ禍で地域の方々の出入りが少なかったが、今後も継続して、利用者が安心して快適に過ごせる環境、スタッフが働きやすい環境を作っていく。	・換気、消毒、検温等のコロナ感染対策を、窮屈にならない程度にしっかりと行っていたと思います。	・コロナウイルスの流行で、事業所にはお邪魔する機会が減りましたが、いつも入り口は清潔にされており、心地良い雰囲気を感じています。	・スタッフの多い少ないにより、掃除の出来に差があるので、一貫して居心地の良い環境作りを目指していく。
C. 事業所と地域のかかわり	・スタッフ一人ひとりが、オリンピア代表であるという意識を持ち、地域の方々と関わる。	・毎朝、朝礼で「あいさつの練習」を行っていることもあり、いつも、しっかりした対応、良い挨拶をしてくれている。	・地域に対して親身に相談に乗っておられるイメージがあります。今年度はコロナウイルスの流行により地域に向くことが難しかったと思います。	・コロナ禍が今後も継続していくと思われるので、情報を集め、感染対策をしっかりと行い、地域のイベント等にも積極的に参加していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・来年度もコロナ禍で制限が多いことが予測されるが、感染症対策をしっかりと行った上で、出来る限り、地域との交流を図る。	・公園への散歩やドライブ等に行ったり、公民館での短時間の集まりに参加されていました。	例年であれば、積極的に利用者と共に外や地域に出かけて行ってくれています。コロナウイルスが収束したらまたお願いしたいです。	・来年度以降も行事等へは行きにくいことが予測されるが、感染症対策をしっかりと行った上で、人の集まらない行事や地域交流を行っていききたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・コロナの情勢を見極めながら、徐々に少人数から再開し、地域にオリンピアのことを知っていただけるようにしていきたい。	・10月以降、あんしんすこやかセンターの方とオリンピアの職員数名のみで行われています。	・今年度は運営推進会議への参加はできませんでしたが、いつも地域の方を交えた会議が行われており、様々な意見の改善に努められている印象です。	・コロナの情勢を見極めながら、あんしんすこやかセンターの方だけでなく、感染対策を十分に行った上で地域の方をお呼びしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	・消防訓練の際、事前に自治会や近隣にチラシを持って訓練があることを知らせる。	・これまで周知が十分でなかったが、自治会等を通して周知されるようになり良かった。	・この地区の中で、新しく、一番高く頑丈な建物なので、災害時はそちらに行こうと思っています。	・地域の方からも頼りにされる施設であり続けられるよう、今後も、研修や訓練に努める。

